

2026年度 青山学院大学剣友会 通常総会 議事録

1. 日時：2026年4月18日（土）17：00～18：05
2. 場所：青学会館2階校友会A室
3. 出席者：計19名（含、オンライン5名）
【執行部】毛利祐子会長(短 S60)、古屋敷直哉副会長(S61)、渡邊圭二幹事長(S62)、
中島一範副幹事長(H15)、山内延貴副事務局長(H18)、嶺俊輔会計(H27)
【監査】河上昌弘監査(H12)
【幹事】風間隆宏幹事(S58)、菊地祐二幹事(S60)、都善行幹事(S61)、吉岡由紀子幹事(S63)、
須田和寛幹事(H1※オンライン参加)、根本柊幹事(R7※オンライン参加)
【相談役】平澤栄一相談役(S54)、上手康弘相談役(S59※オンライン参加)、
【会員】中村敏人先輩(S40)、稲垣公裕師範(S48)、
北幸之助先輩(R8※オンライン参加)、小森あすか先輩(R8※オンライン参加)

4. 議事

【会長挨拶】

毛利会長より開会に際し挨拶が行われた。概要は以下の通り。

- 現役の成果
男子：個人全日本出場が2年連続
女子：団体会全日本出場（9年ぶりの快挙にて実現）
- 当面の重点
会費納入率の向上を今期の重点目標として推進（物価高や遠征費負担増に対応）
- 追悼
昭和44年卒・平間民恵（旧姓北川）先輩の訃報（2025年2月）報告と弔意表明

【議決権について】

渡邊幹事長より有効議決権数について説明があり、総会は研究会規則第17条に基づき開催され、議決は第18条第1項に基づき、議決には有効議決数の過半数の賛成が条件となることを確認した。

参加形態	人数
出席者（リモート参加含む）	19名
書面参加で議決権行使	34名
委任状提出者	66名

委任状の委任先：議長55名、その他11名

（渡邊幹事長7名、平吹氏2名、上手相談役1名、菊池先輩1名）

(1) 2025 年度活動報告案 資料①

【主な成績】

- 5月25日：男子3年・高島選手が関東学生剣道選手権大会において敗者復活戦を勝ち上がり、全日本学生剣道選手権大会の出場権獲得
- 7月5日：全日本学生剣道選手権大会で高島選手が1回戦勝利、2回戦敗退
- 9月20日：関東女子学生剣道優勝大会で9年ぶりに全日本女子学生剣道優勝大会の出場権獲得（ベスト16）
- 11月8～9日：全日本女子学生剣道優勝大会で女子団体1回戦敗退（近畿大学に敗北）

【その他の活動】

- 8月：長野県野辺山で夏合宿実施
- 9月23日：大学グリーンフェスティバルに参加し、120周年記念の手ぬぐい在庫分10枚を完売
- 1月：3年高島君が関東学連と警視庁対抗試合に選出

【決議】

出席者（含、オンライン参加）の全会一致にて、承認された。

(2) 2026 年度活動計画案 資料②

主な大会について決定しているものについては、以下の通り。

大会・試合	日程	開催地
関東学生・女子学生剣道選手権大会 1日目	5月6日	京王アリーナ（調布）
関東学生・女子学生剣道選手権大会 2日目	5月10日	日本武道館
東北学院大学定期戦	6月20日	本学開催
全日本学生・女子学生剣道選手権大会	7月4～5日	日本武道館
関東学生剣道優勝大会	9月13日	日本武道館
関東女子学生剣道優勝大会	9月19日	小田原アリーナ
全日本女子団体戦	11月7～8日	愛知県春日井市
新人戦	11月21日	東京武道館（女子）

- 幹事会については、9月16日、3月6日の2回をオンライン開催で仮予定しているので、幹事各位におかれては、予めスケジュールを確保願いたい。
- オール青山剣道祭については、中等部・高等部・大学の三者連携を重視し、近年の同時開催（学連大会の前日）方式を見直し、12/12（土）開催で調整中（高等部の参加が厳しい状況で課題）

●重点課題：

- 1.会費納入率の向上と現役支援の充実
- 2.OBOG 稽古会の活性化
- 3.剣友会活動の周知啓蒙（写真付き情報提供）
- 4.高等部指導体制のサポート
- 5.役員体制の持続的安定化

【決議】

出席者（含、オンライン参加）の全会一致にて、承認された。

(3) 2025 年度決算報告案・監査報告案 資料③

【収入の部】

- 会費収入は 1,520,255 円で、支払方法を多様化するも、予算未達。若手（20 代後半～30 代）の納入率が低め。
- 特別会計取崩収入を学生活動奨励費に充当した。今後も今回の全日本学生出場等のイベントに際し、学生支援目的で必要に応じ充当する。
- 収入合計は予算比で約 8 万円の不足

【支出の部】

- 運営費のうち総会、会議、通信、事務費用は抑制した。旅費が大幅超過（学連大会の選手交通費が中心、総額約 52 万円のうち約 45 万円）
- 事業費で学生活動奨励費が 40 万円超過（中国遠征補助、全日本出場関連、合宿費高騰対応 等）
- 学生大会の審判派遣への補助を年度内に新規実行（ボランティアからの一部補填へ移行）

【監査結果】河上監査より、決算報告書の内容を確認し、問題なしと報告された。

【決議】

出席者（含、オンライン参加）の全会一致にて、承認された。

(4) 2026 年度収支予算案 資料④

【収入の部】

- 会費収入：170 件（最低ライン）を見込み 1,700,000 円
- 助成金：前年度実績どおり
- 特別会計：予算段階ではゼロ（全日本出場等の事由発生時に対応）

【支出の部】

- 運営費：旅費を 40 万円に抑制（前年実績を踏まえ）
- 事業費（新規・強化）
 - ・指導陣の遠征費補助：10 万円（遠方開催時の負担軽減）
 - ・学生活動奨励費：30 万円（前年実績を反映）
 - ・派遣費（審判等）：6 万円（5 千円×3 名×4 大会を想定）
 - ・東北定期戦の審判お車代：新設計上

【決議】

出席者（含、オンライン参加）の全会一致にて、承認された。

（5）2026 年度剣友会役員選任案 資料⑤

変更が提案された主な役職：

職位	変更内容
会計	嶺会計の事情により、中島副幹事長に 1 年限定で委任
新任幹事	近藤圭亮先輩（S60）、小森あすか先輩（R8）
退任幹事	伊藤明子先輩（H11、任期満了）、市川宗輝先輩（H29、2 期 4 年）

また、退任する嶺会計より挨拶が行われた。

【意見】平澤相談役より、「会則の同一役職任期 6 年の制約もあり、役員のみ手に苦慮している実態から、幹事の中から常任幹事を指名し、そこから執行部を選出すれば良いのではないか」との意見があり、渡邊幹事長より、「過去には常任幹事を設けていたが、会則第 7 条（令和 2 年改定）、第 8 条（令和 3 年改定）のとおり現在の会則では常任幹事という役職はない。ご意見として頂戴する」とコメントした。

【決議】

出席者（含、オンライン参加）の全会一致にて、承認された。

（6）会則改定案 資料⑥

【改定内容】

- 第 8 条の用語整理（「執務」→「任務」）
- 第 19 条の総会議決事項に(5)に「他団体派遣役員などの人選、推薦及び任期中の解任に関する事項」を追加（後続の項を繰下げ）
- 「第 7 章：他団体派遣役員等」を新設し、①剣友会が要請に基づき役員を選出・推薦する手続を明文化、②任期は要請元規約に従う（再任妨げず）、③欠員時は残任期間を後任に適用することについて、第 26、27 条を新規追加し、関東学連への役員派遣等について剣友会の推薦プロセスを規定した。

【改定趣旨】

関東学連への役員派遣について、これまで剣友会での推薦プロセスが未整備だった現状を是正するために、規定を整備する。

【質疑・意見】

- 関東学連からの派遣要請は今も来ているのか？ 窓口は？
- 選考プロセスの明確化が必要との意見
- 派遣役員の活動報告を剣友会に返すシステムの構築が重要との指摘

⇒実態を把握し、今後は学連側の正式窓口を確認し、適正な要請受領→人選→総会決議→推薦・報告の流れを確立する。

【決議】

出席者（含、オンライン参加）の全会一致にて、承認された。

(7) 2026 年度新入会員承認報告 資料⑦（会則に則り、3/7 開催の 2025 年度第 3 回幹事会にて承認済）
新入会員 10 名の報告が行われた。

(8) その他、共有報告事項など

- 会費納入率向上の先行事例（慶應義塾ラグビー部 OB 会）：風間幹事
 - ・ 若手（20-30 代）とベテラン（40 代以降）で会費区分
 - ・ 納入率は過去 10 年で 90%以上、直近は 97%
 - ・ コロナ期に LINE を導入し、情報カテゴリ分けや寄付導線を整備して活性化
 - ・ 試合収入等の競技特性差はあるが、運営・連携の工夫は参考に
- 法人化の検討
 - ・ 社団法人化による資金調達の裾野拡大を提案：須田幹事
 - ・ 青学男子バスケットボール部 OB 会が法人化した事例を OB/OG 連合会経由で収集・共有：上手相談役
 - ・ 他競技・都道府県連盟の事例研究を行い、中長期で検討

以 上